

地中海紀行(6) ナポリでシップウォッチング

2023-7-1 池田良穂

イタリアのチビタベッキアを出て、「アンセム・オブ・ザ・シーズ」はイタリア半島の西岸沿いに南下して、イタリア南部の中心都市ナポリに向かいしました。

ナポリ到着前の早朝には雨が降りましたが、7時の入港時には上がり、青空も見え始めました。クルーズ客船ターミナルには既に「MSC グランディオーサ」が停泊しており、その横には大型カーフェリーが2隻停泊していました。「アンセム」は港内で回頭して出船状態で、「MSC グランディオーサ」とターミナルビルを挟んで、並んで停泊しました。すぐ横に、カプリ島とイスキア島へ行く高速旅客船の乗り場があり、土曜日ということもあるのか、乗船客で栈橋はごった返しており、頻りに船が出入りしていました。島に行くカーフェリーの乗り場は、停泊する大型カーフェリーの影になって見えませんでしたが、「アンセム」の船上からナポリ港の関門が見えるので、出入港する船を見逃すことはありません。一時、上陸してイタリア料理を食べに出かけた以外は、ずっと、船上でシップウォッチングを楽しみました。

出港時には、ベスビオス火山が綺麗に見えていました。



ナポリ港の全景で、左側に見えるのがクルーズ客船ターミナル、中央付近がカーフェリー埠頭です。「アンセム」は、大型カーフェリー「G NV Antares」に続いて入港しました。



港の防波堤の内側に、カプリ島やイスキア島航路の小型高速旅客船が係船されていました。



かつては客船ターミナルだった建物はクルーズターミナルに衣替えしていましたが、一部のカーフェリーの乗降も行っていました。停泊しているのは「MSC Grandiosa」です。



大型カーフェリー「Cruise Ausonia」(左)と「raffaele rubattino」(右)が並んで停泊していました。



「アンセム」のデッキから、カプリ島とイスキア島に行く高速旅客船埠頭の様子がよく見えました。



港口のすぐ外で交差する GNV のカーフェリー「GNV Antares」(左)と貨物フェリー「Forza」です。



入港する「SNV Antares」(中央)と、イスキア島に向かう在来型カーフェリー「Medmar Giulia」(左)、カプリ島から戻った高速旅客船「Capri Jet」(右)の3隻がファインダーに収まりました。



カプリ島とイスキア島から高速旅客船がナポリ港に戻ってきました。



15時にMSCクルーズの「MSC Grandiosa」が旅客を満載して出港していきました。港には駐車場があり、車を置いてクルーズにでかけるドライブ&クルーズの乗客も多いようです。下の写真は駐車場の様子を写したのですが、どうやって出すのだろうと心配になりました。業者が車のカギを預かって駐車させているのかもしれない。





「アンセム」は 18 時に出港して、港外でカプリ島から戻る高速カーフェリー「isola di procide」と反航しました。背景は、有名なベスビオス火山で、山体崩壊による火砕流で一瞬のうちに埋まったポンペイ遺跡が有名で、船からもツアーがでていました。



青い地中海の海に白い航跡を残して「アンセム・オブ・ザ・シーズ」はジブラルタルに向かいました。